

地方創生 やらまいか通信 vol.97

発行日：平成 29 年 3 月 28 日

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

「小中一貫教育基本方針」策定



自立力 社会力

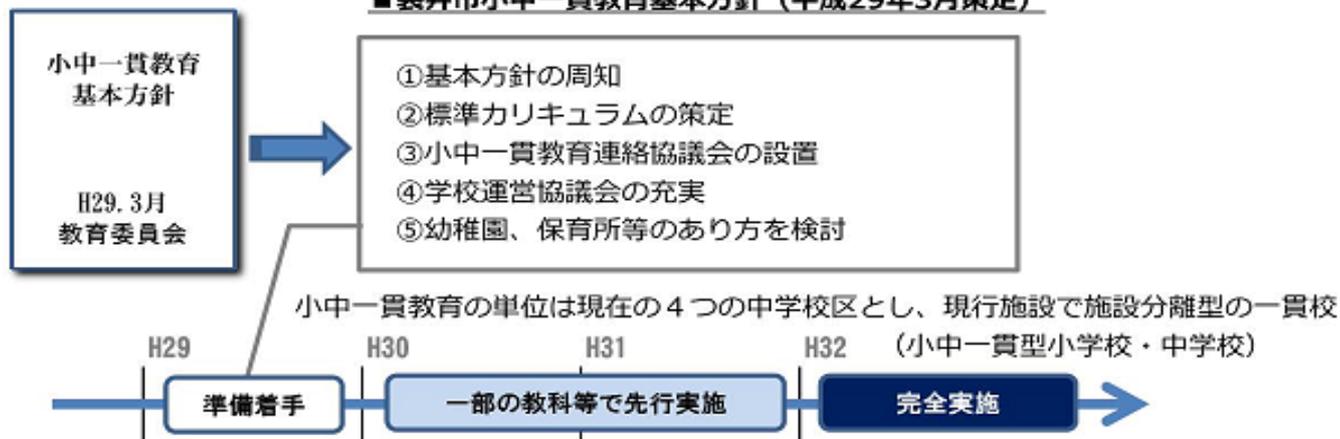
夢を抱き、たくましく次の一歩を踏み出す 15 歳の育成

【写真】平成 29 年 2 月 27 日 場：袋井中学校 CIR [国際交流員] との異文化交流体験授業

取組の概要

袋井市小中一貫教育検討委員会（会長 熊倉啓之 静岡大学教育学部教授）における検討結果を踏まえ 3 月 24 日に「袋井市小中一貫教育基本方針」を策定しました。

■袋井市小中一貫教育基本方針（平成29年3月策定）



市教育委員会では、学力の向上や不登校の減少など本市の教育課題を改善するとともに、袋井市の子ども達に義務教育9年間を修了するまでの間に、これからの社会を生き抜く上で必要とされる力の基礎を確実に身につけさせるため、小中一貫教育を導入します。

袋井市の小中一貫教育の特色

特色1 進行中の「魅力ある学校づくり」※1を軸とし、小・中学校の連携を強化

※1 いじめや不登校を解消するため、中学校区単位で全ての教員が同じ目標のもと協力し、子どもたちが夢や希望を持って意欲的に取り組むことができる環境づくり（居場所づくりや絆づくり）により自己有用感を高めようとする取組。4つの要素（①学校が楽しい、②みんなで何かするのは楽しい、③授業に主体的に取り組んでいる、④授業がよくわかる）に視点を置いて取り組んでいる。

特色2 現中学校区ごとに「学校運営協議会（コミュニティ・スクール）※2」を段階的に充実し、保護者、地域とともに推進する。

※2 学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組み。袋井市では、平成28年度から全小中学校区でコミュニティスクールを実施している。

特色3 過去に実績のある小学校からの「英語教育」を強化・充実する。

平成16年度から静岡県教育委員会の指定研究事業として小学校全学年で外国語活動を実施した袋井南中学校区（袋井南小、高南小）において、中学生の英語力に優位性が確認できた。

特色4 「子ども発達支援プログラム」※3の更なる充実を図る。

※3 0歳から18歳までの個々の発達段階に応じた教育支援プログラム。発達支援が必要な児童生徒及び保護者等へのサポートが充実していることは本市の特徴である。

特色5 幼稚園や保育所等と連携した乳幼児期からの一貫した教育を推進する。

小学校区ごとに公立幼稚園が設置されており、かねてから小学校との連携した取組を行っている。

特色6 ICT環境をフル活用し、学校間の距離を縮める。

平成28年度に整えた教職員に係るICT環境をフルに活用し、学校同士の距離が離れていても情報の共有や意見交換がスムーズに行え、一つの学校として一体感が持てるようなシステムを構築します。